

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高林知佳子、関睦美、野口裕子、前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 ◎高林 知佳子 関 睦美 野口 裕子 前川 絵里子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上	【研究室】 304 301 209 307
【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp museki@niigata-cn.ac.jp yuko@niigata-cn.ac.jp maekawa@niigata-cn.ac.jp			
【本学の科目区分】 専門分野			
【D P 1】 ○ 【D P 2】 ◎ 【D P 3】 ○ 【D P 4】 ○ 【D P 5】			

到達目標	地域を基盤とした個人、家族、集団、組織、地域への看護支援に関する実際や研究の動向・今後の課題について説明できる。		
授業概要	1. 国内外の文献を通して、地域看護活動の対象（個人、家族、集団、組織、地域）に対する看護支援の実際と研究動向・今後の課題を把握する。 2. 文献検討、文献クリティイークを重ねながら、地域看護学における明らかにしたい研究課題を探る。		
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：地域看護援助論 I・IIの到達目標、授業概要、授業構成、授業スケジュール、文献検索、文献検討、文献クリティイークの方法 備考：高林、関、野口、前川 2 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：テーマの探求 学修内容：関心のある研究テーマ・研究疑問に関するプレゼンテーション 備考：高林、関 3-4 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：患者の意思を尊重した退院支援 学修内容：1. 退院支援の文献検討 2. 文献クリティイーク 備考：高林 5-6 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：地域を基盤とした多職種連携 学修内容：1. 多職種連携コンピテンシーの文献検討 2. 文献クリティイーク 備考：関 7-8 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：地域を基盤とした災害対策 学修内容：1. 地域における災害対策の文献検討 2. 文献クリティイーク 備考：野口 9-10 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：地域を基盤とした難病・障害者支援 学修内容：1. 地域で暮らす難病療養者と家族に対する支援の文献検討 2. 文献クリティイーク 備考：前川 11-14 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議		

	<p>学修課題：研究課題の絞り込み 学修内容：1. 関心のある研究テーマの文献検討 2. 文献クリティイーク 備考：高林、関 15 授業内容 授業形態：プレゼンテーションと討議 学修課題：研究課題の検討 学修内容：研究課題と研究意義の検討 備考：高林、関、野口、前川</p>
事前・事後学習	<p>事前学修：学修課題・学修内容について学習し資料を作成し、かつ疑問点や不明点・討議したい内容をまとめ（なお1コマ目のみ、資料作成不要）、授業日の前日まで（その授業の備考欄にある）教員すべてに提出する（メール可）。</p> <p>事後学修：講義内容を振り返り各自の看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。</p>
評価方法、評価基準	到達目標に対し、事前学修内容（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、特定のテキストは使用しない。
参考図書・資料等	各自が検索・収集する。
受講、課題、資料配布等のルール	<p>・授業は、事前学修した内容についてプレゼンテーションし、事前にまとめてきた疑問点や不明点・討議したい内容に沿って討議を進めるゼミ形式とする。</p> <p>※詳細は初回開講時に説明する。</p>
教員からのメッセージ	討論を通じて自らの研究関心を確認するとともに、討論の概要を自分なりに整理して考えをまとめ、研究課題の明確化を図りましょう。
オフィスアワー	メールにてご連絡ください（メールアドレス：takabaya@niigata-cn.ac.jp）。